

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	しばた りょうへい		
氏名	柴田 涼平		
所属	株式会社とける		
役職	代表取締役		
活動エリア	北海道(全国)		
連絡先	住所	〒	
	電話番号		
	メールアドレス	ryohei.shibata@tokeru.info	
キャッチコピー	関係構築(Relationship Design)の専門家		
自己PR	<p>はじめまして、株式会社とける代表の柴田です。私たちは「関係構築」の専門家です。世の中にある数多くの分断を乗り越えて、手を取り合える地域づくり、組織づくり、社会づくりを行っています。北海道で会社経営をして10年以上が過ぎ、北海道全体の地域に対する解像度が高まりました。その視点を持ちながら、自治体の皆さまと取り組みをしてきました。例えば、地域おこし協力隊採用設計、採用後の教育。また官民連携を促進するための協議会づくりなども手掛けてきました。その他、複数市町村連携や広域連携なども手掛けてきています。</p> <p>まずはお話を聞かせてください。その後、その市町村にあったオーダーメイドの改善、解決策を共に考え、実行していく「寄り添い型」の伴走で事業を推進していきます。</p>		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	株式会社とける	https://media.tokeru.link/	
	北海道移住ドラフト会議	https://hokkaidojiu.com/	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p>北海道稚内市出身</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和3年度 株式会社とける創業 ◆令和5年度 ふるさと財団「地域再生マネージャー」 ◆令和6年度 総務省「地域力創造アドバイザー」 ◆令和6年度 北海道「北海道地域おこし協力隊アドバイザー」 ◆令和6年度 札幌市「さっぽろ未来創生プラン推進有識者会議委員」 		
3. 取組分野			
● 観光	(10年以上培ってきた観光・宿泊の知見を持ち合わせて、観光視点でその地域に必要なものを生み出すサポートを行います。(宿泊施設立ち上げ・イベントづくり・地域資源を活かした観光コンテンツの開発))		
● 移住・定住・関係人口	(北海道を中心に相当数の移住・定住への動線づくりや、関係人口づくりを行ってきました。まずはオンライン/対面で認知を広げ、接点を作り、継続的な関係を築き上げていきましょう。)		
● 農林水産業	()		
● 起業支援	()		
● まちなか再生	(「そのエリアはどうありたいのか?」という本質的な問いから始め、まちなか再生の戦略を定めた後、空き家活用やイベントづくりなどの戦術的な話を深めていき、実行していきます。)		
● 集落再生	()		
● 環境	()		
● その他	()		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家(活用助成)	<ul style="list-style-type: none"> ◆2022年度 北海道厚真町・栗山町「広域連携による新関係人口構築デザイン」 ◆2024年度～北海道士別市「移住定住のリデザインと持続可能なビジネスモデル創出事業」 		



5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : 厚真町・栗山町二町連携関係人口創出プロジェクト (2)対象地 : 北海道 厚真町 栗山町 (3)事業目的: 関係人口を創出するために1自治体ではなく、複数地域連携で認知度を上げるためのプロジェクト。</p> <p>(4)事業内容: 厚真町の「挑戦者」と栗山町の「創造者」を8名ずつを取材し、A4両面印刷のリーフレットを厚真町、栗山町で一枚ずつ作り上げた。そのリーフレットは表面、裏面ともに、二町のものをつなぎ合わせると、つながりがわかるデザインとした。さらに、取材した挑戦者、創造者に実際に会う機会を作るために、現地を訪れるツアーも実施した。</p> <p>(5)事業による成果: この事業を通じて、成果は三つあります。 ①厚真町の挑戦者と栗山町の創造者がリーフレット経由で多くの人に認知された。 ②定期的に両町を訪れる関係人口が増えた。 ③プロジェクト終了後に、厚真町と栗山町の事業者同士でコラボ企画などが生まれるようになった。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : 移住定住政策のリデザインと持続可能なビジネスモデル創出事業 (2)対象地 : 北海道 士別市 (3)事業目的: (1)協議会の運営、(2)担い手育成、(3)交流・関係人口の創出、(4)ビジネスモデルの確立 に包括的に関与し、推進すること。</p> <p>(4)事業内容: 上記に挙げた4つの内容を2024年4月～2025年1月末にかけて進めました。毎月協議会設立に向けた打ち合わせを現地で行い、10月には市長公認の団体「Mazaru」が設立されました。その協議会を中心にロジックモデルの策定や、イベントなどの企画運営を行っております。将来的には、移住定住や関係人口の窓口業務を当団体へ引渡し、官民連携で移住定住・関係人口づくりの施策を実施していきます。</p> <p>(5)事業による成果: この事業を通じて、成果は二つあります。 ①市長公認の「Mazaru」という団体が立ち上がったこと。これにより、来年度以降の動きを官民連携で推進していくことができます。 ②多世代が交わり、よりよい士別市について議論できる環境ができたこと。同世代で固まりがちですが、「地域のために」というキーワードが世代間を超えるつながり作りに貢献してくれました。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○ (2)対象地 : ○○県 ○○市 (3)事業目的:</p> <p>(4)事業内容:</p> <p>(5)事業による成果:</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1)事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○ (2)対象地 : ○○県 ○○村 (3)事業目的:</p> <p>(4)事業内容:</p> <p>(5)事業による成果:</p>
<p>※上記以外の取組内容・実績</p>	